

令和 4 年 8 月 29 日、UNDP（国際連合開発計画）が主催する「ナミビアにおける炭素市場の促進」と題するセミナーが、ウィントフックで開催され、西牧大使が出席しました。このセミナーは、ナミビアにおける炭素市場確立を支援するため、日本政府が 100 万米ドルの資金を供与して UNDP を通じて実施中のプロジェクトの一環として行われたものです。セミナーに出席したシフエタ環境・林業・観光大臣からはスピーチの中で、ナミビアが炭素市場を導入するための日本の支援に対し深い感謝のお言葉を頂きました。西牧大使はスピーチにおいて、「本プロジェクトは気候変動との戦いの一環である、炭素排出権取引制度は世界各国が温室効果ガス排出削減に向けて協力するためのものであり、日本は気候変動に関してナミビアを含む他の国々を支援していきたい」旨述べました。バティア UNDP 当地代表はスピーチにおいて、「本プロジェクトは、ナミビアにおける重要な新しいイニシアティブであり、ナミビアに炭素市場が導入されれば、アフリカ初となる」旨述べました。



会場全景

写真左から、西牧大使、シフエタ大臣、バティア代表



スピーチを行う西牧大使